

アヴネット、ドラゴン・イノベーションを買収

プロトタイプから大量生産までのハードウェアパスを簡素化

アリゾナ州フェニックス 2017年8月22日 – 本日アヴネット (NYSE: [AVT](#)) は、[ドラゴン・イノベーション](#)の買収を発表しました。これによって、デザインからプロトタイプ、大量生産まで、グローバルディストリビュータとして顧客に提供するポートフォリオを拡大します。プロセスおよびハードウェアにおけるドラゴン・イノベーションの確固たる経験は、顧客が事業を拡大する中で製造コストとスケジュールを理解し、工場を見つけ、生産を管理するうえで役立ちます。

アヴネットのCEO、ビル アメリオは次のように述べています。「当社のコネクテッド・エコシステムにドラゴン・イノベーションが加わり、アヴネットはあらゆる規模の企業のニーズをさらに満たします。それによって各企業は、市場に出るまでの時間を加速させる効率的かつ費用効果のある形で、新たなハードウェア製品を発売できます。ドラゴン・イノベーションが持つハードウェア製造の専門知識によって、アヴネットのデザインおよびサプライチェーンの能力は電子部品を越えて最終品全体を包含するまでに増強されます。また製品開発の各段階を迅速に進める中で、ドラゴン・イノベーションが顧客のニーズに合わせてソフトウェアとエキスパートへのアクセスを組み合わせることで我々のデジタル戦略を補完する点も同じく重要です。」

ドラゴン・イノベーションの買収は、特に「モノのインターネット (IoT)」を進める各プロジェクトの製造工程の簡素化によって、新技術の製品を開発するうえでのアヴネットの役割をさらに高めます。アヴネットによる昨年の[プレミア・ファネル](#) (同社の [element14](#) コミュニティを含む) および [Hackster.io](#) 両社の買収によって、2百万を超える顧客および75万以上の事業家、メイカー、エンジニアのコミュニティにまでアヴネットの影響範囲は広がりました。この5月、アヴネットはドラゴン・イノベーションとKickstarter とのコラボレーションによる[ハードウェア・スタジオ](#)を発表しました。これは自身のアイデアを供給、設計、構築し市場で実現するための専門知識、ツール、リソースをクリエイターたちに提供する取り組みです。

ドラゴン・イノベーションのCEO、スコット N ミラーは次のように述べています。「大規模生産の最も速く、最もシンプルで、最も安全な方法を顧客に提供することで、製造を簡単に感じるようにするのがドラゴン・イノベーションのビジョンです。我々は利用可能かつわかりやすいオンラインツールに組み込まれているテクノロジーと人間の専門技術を融合します。アヴネットの一員となり、我々は心躍る気分です。」

アヴネットは我々と価値観を同じにするマーケットリーダーであり、大いなるリソースや影響範囲を持っているので、我々の顧客がハードウェアを構築するうえでこれまで以上に助けになることができます。」過去8年間において、ドラゴン・イノベーションは各企業が大規模に製品を製造する方法を再発明しています。クラウドベースのプラットフォームを通じて、またハードウェア製造エキスパートのチームと組んで、ドラゴン・イノベーションは初期製品の戦略・プランニングから工場選択・生産監督まで、製造工程全体を管理します。その近代的な SaaS プラットフォーム、[プロダクトプランナー](#)は参加する人々と相まって、「1から多数へ」の過程を大いに簡素化し、そのリスクを緩和します。ドラゴン・イノベーションは家電市場での堅実な経験をもって、工業市場におけるアヴネットの幅を補完します。同社はホームオートメーション、ウェアラブル、ロボット工学、自動車などの新興 IoT 垂直セグメントをはじめ、幅広い業種での事業経験を誇ります。

ドラゴン・イノベーションの詳細については[ビデオ](#)をご覧ください。アイディアから生産までの、メーカーに対するアヴネットの広範なリソースの詳細については[ここをクリック](#)してください。

ここに掲載される会社名および商号はすべて、関連各企業の商標または登録商標であるとともに、それぞれの所有者に帰属します。アヴネットは、自社の商標を除くその他いかなる商標の所有権益について免責されます。

アヴネットについて

アイディアから設計まで、試作から量産まで、アヴネットは製品ライフサイクルのあらゆるステージでお客様をサポートします。デザインチェーンとサプライチェーンの包括的なサービスポートフォリオによって、アヴネットはテクノロジーの革新者の心強い案内人となります。ほぼ一世紀に渡り、アヴネットは世界中の顧客とサプライヤーを支援して、テクノロジーによる変革の可能性を実現してきました。アヴネットに関する詳細は www.avnet.com をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ

アヴネット・イーエム・ホールディングス・ジャパン株式会社

マーケティングコミュニケーション部

担当：岡本嗣典 tsugunori.okamoto@avnet.com